## (19)日本国特許庁(JP)

# (12) 実用新案公報(Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平6-3668

(24) (44)公告日 平成 8年(1994) 2月 2日

(51)Int.CL <sup>5</sup>		疏別記号	庁内整理番号	FI	技術表示열所
A 6 3 F	7/02 9/00	F	8804-2C 8804-2C 8603-2C		
G07F	1/04 9/04	102	7130-3E 7130-3E		請求項の数1(全 5 頁)
(21)出顯番号		実顕平I <b>– 4697</b> 8		(71)出顕人	株式会社ユニ傲器
(22)出頭日		平成 1 年(1989) 4 月21日		(72)考案者	
(65)公開番号		実開平3-21382			栃木県小山市大字犬塚154-28 株式会社
(43)公開日		平成3年(1991)3	月4日	(74)代理人	ユニ機器内 弁理士 小林 和憲 (外1名)
				苦查官	松川 直樹
				(56)参考文章	<ul> <li>特開 昭63-186393 (JP, A)</li> <li>特開 昭62-217395 (JP, A)</li> <li>実開 昭62-59080 (JP, U)</li> <li>実開 昭53-31480 (JP, U)</li> <li>実開 昭57-161083 (JP, U)</li> <li>実開 昭60-131083 (JP, U)</li> <li>実附 昭58-101274 (JP, U)</li> <li>実公 昭55-62535 (JP, Y2)</li> </ul>

# (54)【考案の名称】 不良メダルの除去装置

1

# 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】適正メダルの寸法に対応した通路を備え、不良メダルの進入を前記通路の入口で阻止する基板と、この基板に開閉自在に設けられ前記入口で進入が阻止された不良メダルを取り出すときに開放される扉板と、この扉板の閉止時には前記通路から退避した位置に保持され、扉板の開放時には前記入口以降の通路内に突出し、通路内のメダルが前記入口から逆流して落下することを阻止するストッパとからなることを特徴とする不良メダルの除去装置。

## 【考案の詳細な説明】

## 〔産業上の利用分野〕

本考案は、メダル貸出機やゲーム機。あるいは両替機に メダルやコイン(以下、メダルという)を供給するため の供給器等に取り付けられ、変形したメダルを検出し 2

て、これを除去するための不良メダルの除去装置に関す るものである。

## (従来の技術)

ゲームセンター等においては、例えばスロットマシンなどの、メダルを使用するゲーム機械が多数設置されている。とのようなゲーム機械では、ゲームの成果によって遊技者にメダルの配当を行うため、配当に充当されるメダルが減少してきたときにはゲーム機械にメダルを補給してやる必要がある。

10 また。最近では、ゲーム機械に使用するメダルを貸し出すメダル貸出機が、ゲーム機械の数台ごとにサンドイッチされていることが多い。こうしたメダル貸出機にも随時メダルを補給しなくてはならない。

以上のようなゲーム機械やメダル貸出機に効率的にメダルの補給を行うために、これらの機器の上に値状の補給

路をほぼ水平に設置している。この補給路にはメダル送 出し装置に接続された給送路が接続されており、下方に 集められたメダルはこの給送路内を1列に整列した状態 で押上られ、ゲーム機やメダル貸出機の上方に移動す る。補給路には機器の設置位置に対応して開閉自在なシ ャッタが設けられており、このシャッタを適宜選択して 開放することによって所定の機器にメダルが補給される ようになる。

前記メダル送出し装置で供給されるメダルの中に不良メ ダル例えば「く」の字型に変形して厚み方向に大きくな 10 ったメダルが混在すると、上述した槌状の補給路や給送 路を塞いでしまうという問題がある。このため、不良メ ダルの進入を入口で阻止する通路を形成し、入口で係止 された不良メダルを扉板を開放して除去する不良メダル の除去装置を用いて、メダル送出し装置から供給される メダルの中から不良メダルを取り除いていた。

#### [考案が解決しようとする課題]

従来では、上述した不良メダルの除去装置を補給路の人 口付近に設けるようにしている。これは、不良メダルを 除去したときに、上流側のメダルが戻ってくることがな 20 把手17で行う。この把手17には係止部17aが形成 いようにするためである。しかし、一般に補給路は機器 上方の高い位置にあるため、そこに詰まった不良メダル を取り出すときの作業性が悪いという欠点があった。 〔考案の目的〕

本考案は上記事情に鑑みなされたもので、不良メダルを 除去するときに上流のメダルが戻ってくることを阻止 し、傾斜のある鉛送路にも取り付けることができるよう にした不良メダルの除去装置を提供することを目的とす

## 〔課題を解決するための手段〕

本考案は上記目的を達成するために、道正メダルの寸法 に対応した通路を備え、不良メダルの進入を前記通路の 入口で阻止する基板と、この基板に開閉自在に設けられ 前記入口で進入が阻止された不良メダルを取り出すとき に開放される扉板と、この扉板の閉止時には前記通路か **ら退避した位置に保持され、扉板の開放時には前記入口** 以降の通路内に突出し、上流のメダルが戻ってくること を阻止するストッパとを備えたものである。

#### 〔作用〕

上記構成によれば、基板に形成された通路はその入口で 40 不良メダルの進入を阻止する。扉板が開放される忉期に ストッパが前記通路内に突出して、道路を遮断する。そ の後、扉板が開放されると、不良メダルは露出されるか ら、簡単に取り除くことができる。この際、通路が遮断 されているので、上流にある適正なメダルは戻ってくる ことを阻止されるから、扉板が開放されても通路外に流 出しない。

## 〔実旋例〕

第1回は本考案の不良メダルの除去装置2とこの不良メ

のである。この給送用樋3はその長手方向に沿って、厚 さ1.6mmのメダル4を給送する深さ2.3mmの給送満 5が形成された下板6と、この給送滞5を蓋する上板7 とからなる。前記下板6の端部には給送海5に連なる接 続部8が形成されている。

前記不良メダルの除去装置2は開口9が形成された基板 10に厚さ2.3mmの一対のガイド板12a,12bが ビス留めされている。このため、基板10には前記給送 **満5と同様な大きさのガイド満11が図中破線で示すよ** うに形成される。また、このガイド板12a, 12bは 前記接続部8に挿入されて、不良メダルの除去装置2と 給送用樋3を接続するから、基板10より突出させてあ

前記差板10の両側面には、一体に形成された支持部1 3が配置されている。この支持部13にはシャフト14 が挿通されていて、このシャフト14の手前側は不良メ ダル4を取り出す取出し口15(第3図参照)となって おり、この取出し口15を覆う釜16が回動自在に取り 付けられている。この登16の開閉は上面に形成された されており、蓋16が基板10にピス留めされていると きには、後述するストッパに前記係止部17aで係合し ている。なお、前記蓋16は通常、一対のビスで基板1 ()に固定されている。

シャフト14の奥側には、ガイド海11の残りを蓋する 固定蓋18がガイド板12a,12b及び基板10にビ ス留めされている。この固定蓋18には厚さ0.3mmの 突起部19 (第2図参照) が形成されており、この突起 部19はガイド溝11に嵌入されている。このため、固 定蓋18で覆われたガイド溝11はその深さが2.0mm となる。したがって、ガイド海11の深さは前記給送海 5のそれに比較してO. 3mm缺くなっており、不良メダ ル例えば「く」の字型をしたメダル4を取出し口15で 詰まらせ、検出できるようになっている。

また、固定巻18には開口20が形成されており、第2 図に示すように、この開口20内にはストッパ21の先 端部に形成された係合端部22が挿入されている。この ストッパ21は前記シャフト14に回動自在に取り付け られており、バネ23で時計方向に付勢されている。と ころで、ストッパ21の後端部は係止部17aにより係 止されているから、係合端部22はガイドはガイド海1 1内に進入することはない。

このように構成された本考案の不良メダルの除去装置2 の作用について第4図を参照して説明する。ホッパー3 ()に投入され、溜められたメダル4はメダル送出装置3 1によって1枚ずつ給送用樋3に送出される。船送用樋 3に送出されたメダル4は給送用縋3の所々に設けられ たメダル送出器32によって順に押し出されるようにし て送出される。順次送出されたメダル4は垂直方向に配 ダルの除去装置2が取り付けられる結送用鑓3を示すも、50、置された給送用槌3の給送排5の中を押し上げられ、不 良メダルの除去装置2に送られる。

前記不良メダルの除去装置2に送られたメダル4の内、「く」の字型に変形していて、その最大厚みが2. ()mmを超えた不良メダル4は、突起部19に係合するから、固定蓋18が被せられたガイド海11に進入することができず、取出し口15で停止する。

第2図において、ビスを緩め、把手17を掴みバネ23の付勢に抗して、シャフト14を中心に蓋16を時計方向に回動すると、バネ23に付勢されたストッパ21は時計方向に回動し、係合端部22が開口20からガイド 10 満11内に進入する。この進入により、開口20に位置するメダル4は基板10に押圧された状態で、基板10から 差16を開放して、取出し口15に詰まっているメダル4を取り出しても、このメダル4の上方に位置するメダル4がその自重により取出し口15に流出するようなことはない。

この後、養16を反時計方向に回動して、取出し口15を覆い、ビスで基板10にこれを固定する。この蓋16の回動に伴い、係合部17aがストッパ21を押圧して、これを反時計方向に回動する。この回動に対応して、係合端部22はガイド溝11内から退去するから、メダル4の給送を再開することができる。

また、上記実施例では係合端部22と基板10とで挟持するメダル4で、ガイド港11を遮断したが、前記ストッパ21をシャフト14の中央位置からずらして取り付けると、係合端部22がメダル4に当接せずに、ガイド港11に突出して、ガイド港11を遮断する。このため、この方法でも取出し口15からメダル4が流出することを阻止することができる。

#### (考案の効果)

以上詳細に説明したように、本考案の不良メダルの除去 装置によれば、不良メダルの進入を阻止する通路を形成 した基板と、この基板に開閉自在に設けられ、不良メダ ルを取り出すときに開放される屋板と、この屋板の閉止 時には前記通路から退避した位置に保持され、扉板の閉 放時には前記入口以降の通路内に突出し、通路内のメダ ルが前記入口から逆流して落下することを阻止するスト ッパとを設けたので、不良メダルを除去するときに扉板 を開放しても、上流側の海正なメダルが戻ってこないか ら、通路から流出することはない。

6

## 【図面の簡単な説明】

第1図はメダルを給送する給送器と、この給送路に取り付けられる本考案の不良メダルの除去装置とを示す斜視図である。

第2図は蓋を閉じた状態の不良メダルの除去装置の側面 断面図である。

第3図は蓋を開放した状態の不良メダルの除去装置の側 面断面図である。

20 第4回は不良メダルの除去装置の一使用例を示す図である。

2……不良メダルの除去装置

4……メダル

5 ...... 給送海

1 ()------基板

11……ガイド溝

16……蓋

30 21……ストッパ。

5

良メダルの除去装置2に送られる。

前記不良メダルの除去装置2に送られたメダル4の内、「く」の字型に変形していて、その最大厚みが2. 0 mmを越えた不良メダル4は、突起部19に係合するから、固定蓋18が被せられたガイド海11に進入することができず、取出し口15で停止する。

第2図において、ビスを緩め、把手17を掴みバネ23の付勢に抗して、シャフト14を中心に養16を時計方向に回動すると、バネ23に付勢されたストッパ21は時計方向に回動し、係合端部22が開口20からガイド 10 満11内に進入する。この進入により、開口20に位置するメダル4は基板10に押圧された状態で、基板10から登16を開放して、取出し口15に詰まっているメダル4を取り出しても、このメダル4の上方に位置するメダル4がその自重により取出し口15に流出するようなことはない。

この後、養16を反時計方向に回動して、取出し口15を覆い、ビスで基板10亿とれを固定する。この蓋16の回動に伴い、係合部17aがストッパ21を押圧して、これを反時計方向に回動する。この回動に対応して、係合端部22はガイド溝11内から退去するから、メダル4の給送を再開することができる。

また、上記実施例では係合端部22と基板10とで挟持するメダル4で、ガイド港11を遮断したが、前記ストッパ21をシャフト14の中央位置からずらして取り付けると、係合端部22がメダル4に当接せずに、ガイド海11に突出して、ガイド港11を遮断する。このため、この方法でも取出し口15からメダル4が流出することを阻止することができる。

## [考案の効果]

以上詳細に説明したように、本考案の不良メダルの除去 装置によれば、不良メダルの進入を阻止する通路を形成 した差板と、この基板に開閉自在に設けられ、不良メダ ルを取り出すときに開放される屋板と、この屋板の閉止 時には前記通路から退避した位置に保持され、扉板の閉 放時には前記入口以降の通路内に突出し、運路内のメダ ルが前記入口から逆流して落下することを阻止するスト ッパとを設けたので、不良メダルを除去するときに屋板 を開放しても、上流側の過正なメダルが戻ってこないか ら、通路から流出することはない。

6

#### 【図面の簡単な説明】

第1図はメダルを給送する給送路と、この給送路に取り付けられる本考案の不良メダルの除去装置とを示す斜視図である。

第2図は蓋を閉じた状態の不良メダルの除去装置の側面 断面図である。

第3回は蓋を開放した状態の不良メダルの除去装置の側 面断面図である。

20 第4回は不良メダルの除去装置の一使用例を示す図である。

2……不良メダルの除去装置

3……抬送用槌

4 ----メダル

5 ------ 給送簿

10……基板

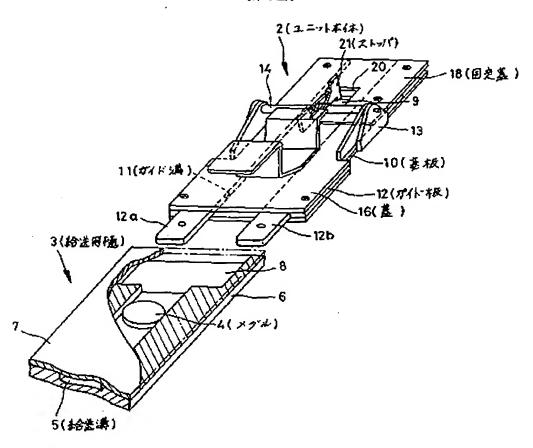
11……ガイド溝

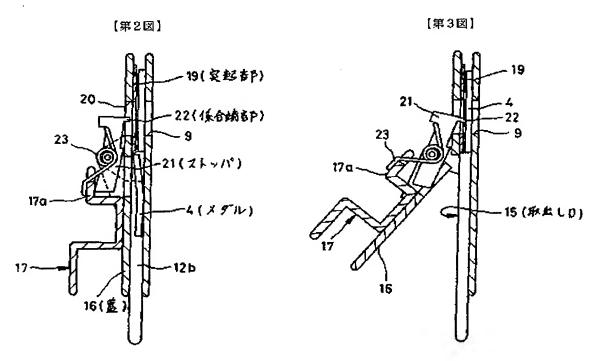
16……鲞

19……奕起部

30 21……ストッパ。

【第1図】





\_ - - -

【第4図】

